

# あたたかいふるさとづくり研修大会

1月20日(水) 開催される!!

「差別のない明るい町づくりをめざす」をテーマに、第19回あたたかいふるさとづくり研修大会が1月20日(水)改善センターで開催されました。

当日は175名の参加者があり、開会行事に続いて映画「サンセットサンライズ」上映の後、児童・生徒の意見発表、最後に讃井 直先生による講演「一人芝居 洪染め一揆」が熱演されました。今回は、神田小6年の増野浩二君の意見発表の紹介と、参加された方のご感想を掲載します。



▲ 讃井 直先生による「一人芝居 洪染め一揆」

## あたたかいふるさとづくり 研修大会に参加して

(当日アンケートより)

人権の根本についてわかりやすく話され、なるほど自分が痛みを持って初めて人の痛みをしつかり受けとめることが出来ると思う。水面下になりがちな差別問題を、日常の中で大人も子供も共に考える場を持ちたい。

(50代Aさん)

一人芝居を見ているうちに今、入院している友人の事や、他県から来た私にも差別があったことを思い出した。話がわかりやすく、感動しました。人は皆、兄弟と思えば仲良くやって行きたいものと思います。

(60代Bさん)

児童、生徒さんの意見発表にはいつも感心します。大人が正しい考えを強く持ちたいものです。

(70代Cさん)

久しぶりに良い映画に出会えて感動しました。テレビでもこんなドラマがあると思ふのが見ることが出来るのですが残念です。

(50代Dさん)

子供の学校生活のこと、母親のペンション経営のこと、青年の結婚問題の事などがうまくからめて出来上がっていて退屈しませんでした。子供のまっすぐで真剣に取り組む気持ちが大人の気持ちと動かし場面に気持ちがあつきました。

(30代Eさん)

先人の戦い努力により改められて来たようですが、差別のない自由な社会であるようみんなが輪を広げて行かなくてはと思った。

(60代Fさん)